

本郷保育園給食調理の 民営化は許されない

8月に入って突如、保育園の給食調理の民間委託方針が出されました。本郷保育園は来年度から、民間委託の対象園になっています。区の行革方針にも実施3ヵ年計画にもなく、来年度以降、調理師の募集は一切行わないという唐突で「だまし討ち」のようなやり方です。

区は、1歳児園では、現行の調理師の人員費分、委託調理師の人員費と新たに非常勤栄養士を年間280万円で配置して、それでも116万円経費が浮くとしています。直営を継続しても、退

職者を新規採用で補充すれば、人員費は委託したと同様に下がります。区当局は、都の最低配置基準で、0歳児園では正規調理員3人配置とあるのを、区の「行革」で人員削減を押しつけ、調理の退職者は補充せず、正規2、非常勤2名で対応させました。同時に調理の区直営を維持し、民営化しないと取り決めたはずです。

区は、正規職員が年度途中で退職した場合は、再度の募集は行わず、非常勤2人を入れることで、正規2、非常勤2の体制



すら維持できなくし、正規、非正規職員双方に加重な責任がかかる状況を作ってきました。今日の状況を作ってきた責任はひとえに区にあります。

委託により区の責任を幼い子どもたちにしわ寄せすることは、絶対に許されません。私たちは、この問題を本会議質問で取り上げ、区長の姿勢を厳しく追及しました。引き続き頑張ります。

豊洲市場への移転中止を 土壌汚染対策の徹底解明を

築地市場の移転予定地である豊洲新市場で、土壌汚染対策として行われているはずの「盛り土」が、食品を扱うすべての建物の下で行われず地下空間が存在することが、日本共産党都議団の調査で、明らかになりました。

「食の安全・安心」の根幹にかかわる重大問題として、都民の怒りを広げています。

当時の石原知事が2001年に決めた豊洲新市場は、東京ガスの工場跡地で、発がん性物質のベンゼン、猛毒のシアン化合物などの有害物質が高濃度で検出されたところです。都は土壌を削り、その上に厚さ4.5メートルの盛り土



をする等の土壌汚染対策を行ったので安全を確保できると説明してきました。明らかになった事態は、都民を欺くものであり、汚染対策、用地選定の経過、談合疑惑、巨額な税金の使い方など、徹底解明が必要です。小竹都議先頭に市場の移転は中止をの声を大きく広げていきます。私たち区議団も頑張ります。

湯島小学校内に 学童保育設置

湯島総合センター内にある（本郷3丁目）湯島育成室は、定員がいっぱいで入れないお子さんが多く、地域の方々から何とかしてほしいという声がたくさんあがっていました。9月議会の私が所属する総務区民委員会に、285万9000円の補正予算が組まれ、湯島小学校のコンピューター室が、学童保育（育成室）の部屋へ転用されることになりました。ただし、指導員は、区の職員ではなく民間事業者となるので、湯島総合センター内にある学童保育の職員と、連携を密にとるよう要望しました。

日本共産党 文京区議会議員

**関川けさ子の
レポート**

文京区本郷1-27-8-802
TEL3817-8985 区議団控室5803-1317




どんなことでも
お気軽にご相談ください

法律・生活相談

第1・3木曜日
午後3時～5時

小竹ひろ子事務所にて
☎ 3814-1076

事前に電話でご予約下さい。

新築の総合体育館 カビ・サビの完全除去と 検証委員会の早急な立ち上げを

日本共産党区議団とぶんきょう未来（民進含む）は、9月26日の総務区民委員会で、区長提案の平成28年度予算補正予算案に対し、共同で修正案を提出しました。平成25年4月に新築オープンした旧第四中学校跡地にできた総合体育館の（運営は東京ドーム）屋内プールでカビ・サビが発生し続けている問題で、区側が換気設備改修を1147万で行うという提案している部分について、削除する修正案です。

総合体育館では新築直後の8月にプールの屋根のガラスが熱で割れ、更衣室やシャワー室プールサイドでカビが発生し、

アリーナ等での雨漏りを直すにも3年もかかりました。今年3月の予算委員会でも、カビ・サビの発生が指摘されましたが、根本対決に至っていません。

区側は今回の改修予算はプール環境の（向上）の為とし、4時間に亘った熱心な審議を通じ、今年6月にも「経年劣化」で新たなガラス割れがあった事実も判明しました。わたしが所属する総務区民委員会の共産党、未来の4委員は共同で修正を提案し、賛成5、反対3で修正案が委員会可決されました。画期的なことです。

私は、総務区民委員会でカビ。



プールサイドのドアにさび

サビの完全除去実施と、区が改修費を予算化した9月議会をとらえ、問題発生の原因や設計・施工、東京ドームの運営等を検証した上での改修こそ確かな再発防止につながるの立場から区の姿勢を、質しました。

改修工事は12月からの予定になっていますが、早急に検証委員会を立ち上げカビやサビの根本的な原因を解明するとともに、体育館を利用している方々が快適に使えるよう清掃を徹底することなど、引き続きこの問題の解決のため頑張ります。

元町公園・旧元町小 整備方針を文京区が策定

元町公園・旧元町小学校は、両施設の劣化度調査が終わり、小学校については、コンクリート部分の痛みが激しく、今後、長期にわたって使用するには、適切な対応が必要であること、公園についても、大谷石製の擁壁や塀の風化が著しく全面的な改修が必要であることが、明らかになりました。

今後区は、この調査をもとに、

地域住民7人、公募委員3人、学識経験者からなる検討会を今年12月頃から来年の4月頃まで行い、施設の使い方について結論を出すことにしています。小学校については閉校してすでに18年になりますが、一日も早く二つの施設を一体で保存し、文化財に指定をしていくべきです。地域の皆さんと一緒に保存に向けて頑張ります。



元町公園のカスケード